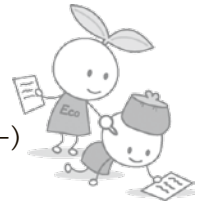


## CC かわさき交流コーナー 2月の講座&テーマ展示のご案内

川崎市地球温暖化防止活動推進センターでは、毎月のテーマに関連した講座と展示を行っています。ぜひ、お気軽にお立ち寄りください。(無料)

### 【講座】

- 内容：「川崎臨海部からはじまる水素供給ネットワーク」  
常温常圧で大量に水素を貯め運ぶ技術を用いたビジネス展開について
- 講師：大島泰輔氏（千代田化工建設株式会社 水素事業推進セクション チームリーダー）
- 日時：平成27年2月21日（土）10時～11時30分
- 場所：高津市民館 第5会議室
- 申込方法：氏名・電話・住所・メールアドレスを記載の上、FAX・メール・ホームページから
- 定員：40名（先着順）



### 【展示】

- 展示テーマ：エネルギー
  - 開催日時：平成27年2月1日（日）～2月28日（土）9時30分～17時30分（高津市民館休館日・月曜日は休み）
- ホームページ：<http://cckawasaki.jp/kwccca/>

申し込み・問い合わせ：川崎市地球温暖化防止活動推進センター（CC かわさき交流コーナー）  
〒213-0001 高津区溝口1-4-1 ノクティ2、11階（高津市民館内）  
TEL 813-1313 FAX 330-0319 メール office@kwccca.com

## コラム 生物多様性保全の取組を知ろう！～第3回「生き物をつなげる」～

みなさんは、「生態系」、「エコロジカルネットワーク」、「コリドー」という言葉を聞いたことがありますか？

「生態系」とは、自然界のある地域にすむ生き物と、生き物を取り巻く環境がお互いに影響しあひながら形づく、ひとつのまとまった仕組みと働き（システム）のことです。「エコロジカルネットワーク」とは、生態系のネットワーク（つながり）のことで、生き物がお互いに移動できるように、すみか（生息・生育環境）がつながっている状態を表しています。生き物のすみかがつながることで生物多様性は確保され、生き物が移動できるような緑や水がつくる経路のことを「コリドー」と呼びます。

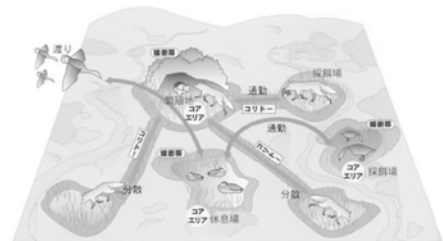
川崎市では、1950年代から急速に都市化が進み、生き物のすみかとなる樹林や農地などの緑地が分断化・孤立化するようになりました。それに伴い、「生態系」同士のつながりも弱くなってきました。

生物多様性かわさき戦略では、分断化・孤立化した生き物のすみかを、人の活動によってつなげ「エコロジカルネットワーク」を形成していく「生き物をつなげる」取組として、「守る」「つなぐ」「創る」をキーワードに、次のような取組を進めています。

- 「守る」：生き物のすみかとなる現存の緑地を守る取組  
生き物の生息・生育環境となる樹林地と農地の一体的な保全に向けた取組の推進
- 「つなぐ」：街路樹や河川を利用した「コリドー」で生き物のすみかをつなぐ取組  
市民・企業・行政等の協働により広域的な緑や水景を保全・再生・創出し活用していく取組の推進
- 「創る」：まちなかに緑の拠点を創る取組  
公園等における生き物に配慮した整備等マニュアルの作成  
市内事業者と緑化の推進に関する協定の締結による緑化の推進

身近にある緑や川などのまちなかの小さな自然に目を向けて、エコロジカルネットワークや生物多様性について考えてみませんか？

【次回は、「情報をつなげる」取組みについて紹介します。】



【エコロジカルネットワークのイメージ】  
(出典) パンフレット「人と自然との美しい共生 エコロジカルネットワーク」(国土交通省)

問い合わせ：環境局環境調整課

TEL 200-3720 FAX 200-3921

公害病被認定者数 1,437人  
(認定者総数 6,038人 - 認定失効者数 4,601人)  
認定失効者数 4,601人  
(治癒等 2,067人 + 死亡者数 2,534人)  
平成26年12月末現在 (健康福祉局)

### 発行編集

川崎市環境局総務部環境調整課  
電話 044 (200) 2387 (直通)  
E-mail 30kantyo@city.kawasaki.jp



モバイル川崎  
「環境情報」へ

